

令和 6 年度当初予算施政方針

令和 6 年都城市議会 3 月定例会の開会に当たり、市政運営に対する基本的な考え方について、所信を申し述べますとともに、令和 6 年度当初予算の大要を御説明申し上げます。

まず、元日に発生した令和 6 年能登半島地震により亡くなられた皆様と御遺族に対し、深く哀悼の意を表しますとともに、被災された全ての皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

本市といたしましても、給水支援のための職員と給水車を派遣するとともに、義援金の受付を行っておりますが、今後とも、本市としてできる最大限の支援を行ってまいります。

さて、令和 5 年 5 月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の 5 類に移行し、3 年に及ぶ新型コロナウイ

ルスとの闘いは大きな節目を迎え、祭りやイベント等様々な行事が再開され、まちに賑わいが戻ってまいりました。市民の皆様には、感染拡大防止対策等の取組に御理解と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

そうした中、我が国経済は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化を背景とした国際的な物価上昇や円安の影響等から、日常生活に密接なエネルギー・食料品等の価格上昇が続いており、国民生活に大きな影響が出ております。

また、近年は、全国各地で自然災害が頻発し、令和4年9月に発生した台風14号では、本市でも大きな被害が発生いたしました。

こうした状況を踏まえ、令和6年度当初予算におきましても、まずは、「原油価格・物価高騰対策」及び「防災・減災の推進」にしっかりと取り組んでまいります。

その上で、本市の未来躍進に向けた取組である「人口減少対策」に積極的かつ強力に取り組むとともに、「デジタル化の推進」、「スポーツによる地域活性化」、「“肉と焼酎のふるさと・都城”の対外的PRの更なる推進」を図るための各施策に予算配分を行い、また、これまで進めてきている様々な施策、すなわち、本市が持つ“3つの宝”をより一層輝かせるための各施策をはじめ、「中心市街地の活性化」、「地域の活性化」や「市民サービスの更なる向上」等の重要施策にも取り組んでまいります。

その一方で、行財政改革の推進による財政健全化も着実に進めており、まさに、本市の未来躍進のための各施策への予算の重点配分と財政健全化との両立が図られた予算、『スマイルシティ都城・未来躍進予算』として編成したところであります。

それでは、まず、当面の課題への対応について、順

に御説明申し上げます。

「原油価格・物価高騰対策」につきましては、原油価格・物価高騰の影響を受けている家計を支援するため、全ての市民の皆様に対し、1人当たり5,000円の「物価高騰対策！暮らし応援券」の発行を行うとともに、地域経済の活性化に資する「住宅リフォーム支援」も継続して行ってまいります。

また、^{あしもと}足下の物価高に対応するため、引き続き、小中学校給食費の据え置き（実質値下げ）を行うとともに、製造価格が上昇している指定ごみ袋につきましても、当面、販売価格への転嫁は行わず、価格の据え置き（実質値下げ）を行ってまいります。

次に「防災・減災の推進」につきましては、令和4年9月の台風14号の被害発生を受けて設置された、国・県・市による大淀川上流内水対策検討会での検討結果を踏まえ、まずは、国の排水ポンプが未配置の地区に

可搬式排水ポンプを導入してまいります。

また、河川や水路への雨水の流出抑制と市民の皆様の防災意識の醸成を図るため、雨水貯留タンクの設置を支援してまいります。

次に、本市の未来躍進のための重要施策について、順に御説明申し上げます。

令和5年12月に国立社会保障・人口問題研究所が発表した将来人口推計によると、2020年時点で約16万人の本市人口は、30年後の2050年には約12万5千人にまで減少することが予測されております。

人口の減少は、生産・消費活動の縮小や地域コミュニティの衰退等、地域経済や市民生活に様々な影響を与えることが考えられ、その対策は喫緊の課題であります。

そこで、本市では、令和5年度から「人口減少対策」を施策の中心に据え、10年後に人口増加へ転換させるための各施策に強力に取り組んでおりますが、その

結果、移住者が急増し、令和6年2月1日現在の推計人口は15万8千575人となり、令和4年度末（令和5年4月1日現在）の推計人口に比べて大幅な人口増となっております。

こうした状況を踏まえ、令和6年度におきましては、政策目標を『10年後に人口増加へ』から『人口減少から人口増加へ』と引き上げ、「人口減少対策」を更に積極的かつ強力に推進してまいります。

まず、自然増対策につきましては、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援策として、「第1子からの保育料」、「中学生までの医療費」、「妊産婦の健康診査費用」の『3つの完全無料化』を引き続き実施してまいります。

次に、自然減対策につきましては、「都城市郡医師会病院心臓・脳血管センター整備への支援」や「こけなからだづくり講座の拡充」等に取り組んでまいります。

社会増対策につきましては、「移住応援給付金」を精緻化して施策の効果をより高めるとともに、「保育人材の確保対策」等も実施し、移住者の増加に取り組んでまいります。

また、社会減対策につきましては、高校生・保護者に地元企業を見学してもらう「企業巡見」や、まちなか居住推進のための「共同住宅の建設支援」等を実施し、定住促進を図ってまいります。

人口が減り続けている我が国日本において、本市の人口を増加に転じさせることは並大抵のことではありませんが、10年後、20年後の「市民の皆様の幸福と本市の更なる発展」のために、高い目標を掲げて果敢に挑戦してまいります。

次に、「デジタル化の推進」について御説明申し上げます。

本市におきましては、組織・人材・予算を大幅に拡

充し、年間100を超えるデジタル化関連事業に積極的に取り組み、デジタル先進自治体として「日本DX大賞」を受賞するなど、本市の取組が全国で高い評価を受けております。

そうした中、令和6年1月には「都城市行政手続オンライン化宣言」を行い、令和6年度末までに、原則全ての行政手続をオンライン化することとしております。

令和6年度におきましても、市民課窓口での申請手続が、原則署名のみで完了する「書かない窓口」の設置や「公共施設等スマートロック予約システム」の運用等、市民の皆様が『いつでも・どこでも』デジタル化の恩恵を享受できるまちづくりを進めてまいります。

「スポーツによる地域活性化」につきましては、昨年再開した高城運動公園での読売ジャイアンツ・ファームキャンプに続き、千葉ロッテマリーンズの春季キャンプ及び秋季キャンプが、来春から都城運動公園で開催さ

れることが決定いたしました。

本市としましては、都城運動公園に防災機能を有する屋内競技場やブルペン・サブグラウンドを新たに整備するとともに、官民一体となって、おもてなしの心で受け入れ準備を進めてまいります。

また、令和9年に宮崎県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて、山之口運動公園に第3種公認陸上競技場を整備するとともに、その玄関口となる山之口駅等の整備を進め、また、都城運動公園にテニスコート等の整備も進めてまいります。

「“肉と焼酎のふるさと・都城”の対外的PR」の更なる推進につきましては、これまでに4度日本一となったふるさと納税を、引き続き対外的なPRツールとして推進するとともに、オープンから約7か月半で100万人の来場者となった物産振興拠点施設「道の駅都城」N^ニi^クQ^ルL^ルLにおいて、極上ブランド和牛が味わえ

るイベントを開催いたします。

また、「魅(み)せる観光地」として整備を進めている関之尾公園は、今年4月にリニューアルオープンの予定であります。

次に、本市が持つ“3つの宝”をより一層輝かせるための各施策について御説明申し上げます。

第1の宝である「農林畜産業」の振興につきましては、「次世代乳用牛の育成」に取り組む酪農家への支援を拡充するとともに、「全国和牛能力共進会対策」、「養豚生産性の向上対策」、「鳥インフルエンザ等の防疫対策」等に引き続き取り組んでまいります。

また、6次産業化の推進におきましては、新たな地域ブランド「都城メンチ」を全国に発信するための官民連携プロジェクトを積極的に展開してまいります。

このほか、森林環境譲与税を活用した事業としまして、伐採跡地への再造林や機械化による造林作業の省力

化等の支援を行い、持続可能な森林づくりを推進してまいります。

第2の宝である「地の利」の拡大につきましては、市長就任以来、早期全線開通に向けて様々な取組を行ってきた「都城志布志道路」が、いよいよ令和6年度に全線開通する予定であり、南九州の物流拠点としての機能がますます高まることが期待されます。

また、都城志布志道路と東九州自動車道を結ぶ都城末吉道路（仮称）・曾於志布志道路（仮称）や、本市と日南市を結ぶ国道222号牛ノ峠バイパス（仮称）の早期事業化に向けた整備促進大会の開催等、官民一体となった要望活動を引き続き進めてまいります。

さらに、今後の広域道路ネットワークの形成に大きく寄与する甲斐元通線^{かいもととおりせん}を新たに整備するとともに、鷹尾^{たかお}上長飯通線^{かみながえとおりせん}（川東工区）の市場入口交差点^{いちばいりぐち}の整備や令和6年度完成予定の鷹尾都原線^{たかおみやこぼるせん}等の基幹道路の整備にも継

続して取り組んでまいります。

その他、都城インター工業団地桜木地区に続き、都城インター工業団地高木北地区や梅北インター工業団地の整備を進めるとともに、立地指定企業への支援を拡充することで、切れ目のない企業立地を進めてまいります。

第3の宝である「人間力あふれる子どもたち」の育成につきましては、小中学校のICT化を推進し、「AIドリル」の活用等により、児童生徒の学力向上を図ってまいります。

また、ALTによる語学指導事業の拡充や小中学校図書館サポーターの増員等も着実に進めてまいります。

さらに、子どもを主役とした持続可能な部活動を実現するため、部活動指導員を配置して指導力と競技力の向上を図る「みやこんじょ部活動応援プロジェクト」にも新たにに取り組んでまいります。

次に、主な重要施策について、順に御説明申し上げます。

ます。

「中心市街地の活性化」につきましては、「中心市街地再生プラン」や「まちなか活性化プラン」に取り組むとともに、ウエルネス交流プラザ開館20周年を記念して「リト@葉っぱ切り絵展」を開催いたします。

「地域の活性化」につきましては、地域コミュニティの中核として、本市の発展と地域社会の振興に大きく寄与していただいている自治公民館に対する「自治公民館整備費補助金」、「自主防災組織補助金」を拡充するとともに、「自治公民館加入促進支援事業」にも取り組んでまいります。

また、「移住応援給付金」には中山間加算を設けることで、中山間地域への移住を促進するとともに、中山間地域での空き店舗を活用した新規出店の取組も新たに支援してまいります。

さらに、「高城総合支所複合施設整備事業」や「小松

原地区公民館・体育館複合施設整備事業」、「たちばな天文台のリニューアル」にも取り組んでまいります。

次に、「市民サービスの更なる向上」につきましては、山田運動公園や市営南墓地等の公共施設のトイレを更新するとともに、多くの子どもたちに利用されている「川の駅公園」のおもしろ自転車の更新にも取り組んでまいります。

「カーボンニュートラルの推進」につきましては、公共施設のZ^ゼE^ブB（Net Zero Energy Building）化の可能性調査を行うとともに、公用車への電動車の導入や学校施設等の照明のLED化を実施し、脱炭素への取組を推進してまいります。

また、がん患者の皆様の心理的負担を軽減し、就労等の社会参加を促すため、医療用ウィッグや乳房補整具の購入費用の助成事業にも取り組んでまいります。

さらに、芸術文化に触れる機会として、都城市立美

術館で「グッドデザイン都城」展、都城島津邸で特別展「室町時代―その成立と受容―」を開催いたします。

令和6年度におきましては、以上のような各施策に取り組んでいくこととしており、その結果、令和6年度当初予算は、一般会計が975億7千万円となり、また、特別会計、企業会計を加えた全会計が1千495億9千963万1千円となっております。

一般会計に関しまして、歳出面では、「会計年度任用職員の勤勉手当」を導入したこと等により、人件費が12億4千779万2千円増加し、138億588万9千円となりました。

また、投資的経費は、「都原団地A棟整備事業」等が増加したものの「関之尾公園リニューアル事業」等が減少し、136億6千620万7千円となりました。

歳入面では、市税について、定額減税の影響により、前年度に比べて1億9千560万9千円減少の197億

3 千 9 1 3 万 7 千 円 を 見 込 ん で お り ま す。

また、新規市債発行額は、緊急自然災害防止対策事業債等の増加により、前年度に比べて2億849万円増加し、42億5千433万5千円となっております。

なお、令和6年度末の一般会計の市債残高見込みは、644億1千44万6千円となり、市長就任直後の平成24年度末に比べて100億円以上減少し、着実に財政健全化を進めておりますが、今後も引き続き、行財政改革の推進等に取り組み、財政健全化を図ってまいります。

以上、今後の市政運営に対する基本的な考え方と令和6年度当初予算の大要について御説明いたしました。

私としましては、まずは、「原油価格・物価高騰対策」、「防災・減災の推進」に引き続き取り組むとともに、本市の未来躍進に大きく貢献する「人口減少対策」をはじめとする重要施策を、積極的かつ強力に推進してまいります。

そして、これらに加え、これまで取り組んできた、本市が持つ“3つの宝”をより一層輝かすための各施策をはじめとする重要施策を着実に実施していけば、本市は、“南九州の拠点都市＝リーディングシティ”の地位を確立し、“市民の笑顔があふれるまち＝スマイルシティ都城”を実現し、そして、『市民の皆様のご幸福と本市の更なる発展』を達成できると確信しております。

したがって、令和6年度におきましても、市民の皆様のご御理解の下、初心を忘れず、これまで以上に“本気で挑戦”し、各施策を“積極的に前に進め”、『市民の皆様のご幸福と本市の更なる発展』のために全身全霊で取り組んでまいりたい所存でありますので、市民の皆様及び議員各位のより一層の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。